

## 地方から日本・世界を変える気概で 地域を活性化する原動力になる

### 宮城大学・事業構想学群・地域創生学類

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

(地下鉄泉中央駅から宮城交通バス(泉パークタウン行き)  
に乗車、宮城大学・仙台保健福祉専門学校前下車)

地方の人口減少、大都市圏への人口集中を見る限り、地方は取り残されたかのように見えます。しかし地方には大都市圏にはない自然資源、歴史・文化資源、産業資源があり、自然や文化を楽しむ豊かな暮らしを支える高いポテンシャルを有しています。むしろこれからは、多くの人々が地方で豊かな暮らしを送ることを選択する時代になるかもしれません。

これまで見過ごされていた地域における資源、産業、暮らしのなかから価値を見出し、その価値をベースとして他の地域との交流人口を増やす。そして交流を通じて地域の産業を元気にし、より優れた経済活動、居住条件を実現することが、地域活性化であり、これからの大きな課題の一つです。

東北地方においては東日本大震災からの復興も大きな課題です。道路、住宅、農地などの社会基盤の復旧は進んでいるものの、地域のコミュニティと安定した生活基盤を復活させるには、まだ長い時間がかかります。

地域創生学類は、科学的・技術的な根拠に基づき政策を企画立案・実施する方法論『エビデンスベースドポリシー』の確立とそれに携わる人材の育成を目標としています。この目標を達

成するため、地域課題を明確にする科学的な分析手法や技術を学ぶことのできる「地域科学コース」と、地域活性化のための都市・農村政策や協働まちづくりを学ぶことのできる「地域政策コース」の履修コースが設けられています。農業農村工学が活かされるのは「地域科学コース」です。

地域の経済・産業や人々の暮らしは水路、道路、農地、堤防などの社会基盤によって支えられています。しかし、自然災害の発生、少子高齢化の進行、技術者不足などにより社会基盤の維持が困難になっている地域が増えています。東日本大震災では沿岸部の農林水産業と社会基盤が甚大な被害を受け、復旧に当たる技術者不足が深刻な問題となりました。社会基盤づくりや災害復旧などを通じて地域を再生できる技術者もこれからの地域創生になくてはならない人材です。国や地方自治体の技術系公務員や技術系コンサルタントなどの仕事がこれに該当します。

地域科学コースでは、これらの基礎的・専門的な技術を身につけた上で、それをバックグラウンドとして地域創生のプロフェッショナルとして活躍できる人材、また社会基盤づくりや災害復旧などを通じて地域を再生し活躍できる人材を育成します。

**資格取得:** 二級・木造建築士

**就職先:** 農林水産省、国土交通省、宮城県、秋田県、福島県、山形県、東京都、新潟県、仙台市、独立行政法人水資源機構、東日本旅客鉄道(株)、鹿島建設(株)、西松建設(株)、内外エンジニアリング(株)、(株)三祐コンサルタンツ、(株)七十七銀行、(株)仙台銀行など